



# 新たな歴史の第一歩

平成23年3月11日、第64回卒業証書授与式が行われました。しかし、今回は第1回でもありました。式辞の中でも触れましたが、新しい体育館で行う初めての卒業式だからです。そして、記念すべき第1回にふさわしい厳粛な儀式が行われました。

式の中で歌われた『旅立ちの日に』『巣立ちの歌』は、どちらも感動的な歌声でした。最後の卒業生記念合唱『春に』も見事でした。式がグッと引き締められました。

また、1・2年生も立派な態度で花を添えてくれました。特に、前日の準備から、当日の後始末にいたるまで、3年生への感謝の気持ちが行動によく表れていました。このような光景も新たな歴史の第一歩として語り継がれていくはずで



今、皆さんの脳裏には、中学校生活の様々な思い出が走馬燈のように巡っていることでしょうか。修学旅行では、先輩達が幾度も試みたけれど実現できなかった阿蘇山の火口見学。天候に恵まれ、吸い込まれそうな大きくて深い火口を見ることができました。また、気象観測が始まって以来の猛暑の中で練習し、感動的だった体育祭。さわやかな歌声が響き渡ったこの新しい体育館での記念の合唱コンクール。さらに、今日この体育館から第1回卒業生として巣立ってゆく皆さん。皆さんが歩んできたところに、たくさんの幸運と感動がありました。

さて、皆さんが入学した3年前は、アメリカのサブプライムローンから端を発した金融危機で、世界中が百年に一度あるかどうかといわれるほどの不景気の嵐が吹き荒れ、多くの人たちが会社を解雇されるなど、世界経済が冬の時代に突入した年でした。あれから3年、景気が上向いてきたとはいえ、経済不況は収まるどころか、就職難で困っている人も多く、様々なところに深く影響し、先が見えにくい時代となりました。その様な今、義務教育を終えて、一人立ちしなければならない皆さんも、この先、まだまだ不景気の嵐にさらされることになるでしょう。今日からは、中学校の課程を終えると同時に、9か年の義務教育課程を終え、自分の責任のもとで、未知の世界へと出発しなければなりません。そんな君たちに、次のはなむけの言葉を贈りたいと思います。

まず第一は、バカになれる人になってほしい。君たちほど、素直な3年間を送った学年はありません。全校朝礼でも、「詫間中学校の生徒は一番良くヘルメットをかぶっています」と話しました。その中にあって、あなたたちは取りわけ後輩の良き手本となる行動ができました。これからは、様々な不正が横行する社会へと歩いていきますが、胸を張って今まで通りバカ正直に生きてください。バカになりきれぬ人は、それだけで十分価値があります。陰ひなたなく、正々堂々、バカ正直に生きてほしいと願っています。

第二は、勉強しましょう。現代社会は、様々な情報があふれ、めまぐるしく変化しています。物事の本質を見抜き、正しく判断できるようになるには、勉強する以外にありません。自分の行きたい上級学校を目指して頑張るのもいいでしょう。自分の特技を伸ばすのもいいでしょう。知識をたくさん吸収し、人生の糧としましょう。隣の芝生は青いと、うらやましがってるようでは進歩はありません。しっかり勉強して、賢く、着実に、そして力強く生きていってほしいと思います。

最後は、周りの人に感謝することです。これまで生きてきた、わずか15年間を振り返っても、数え切れないほどの人の支えによって、今があることに気付くでしょう。ましてや、ご家族の支えには、甘えてばかりであったことでしょうか。お世話になった方々に感謝することは、人の道であります。素直に感謝できる、清らかな心の持ち主であってほしいと思います。

(※卒業式校長式辞から一部抜粋)

## 生徒会の募金活動にご協力ください

感動的な卒業式からわずか数時間後、東北地方で世界最大級の地震と津波が発生し、多くの方が被災されました。そこで、私たちに何かできることはないかと考え、生徒会では、被災された方々を支援するための義援金の募金活動を行うことになりました。また、21日に行われる詫間中学校吹奏楽部によるスプリングコンサートでも募金活動を行います。一人でも多くの方の命を救うためにご協力をお願いします。

## 詫間中学校に関するアンケートから ～2年生編～

### 「浦島デー」についての意見・感想

- ◆ 公開授業は、子どもたちの職場体験からのつながりで、お金のことや社会のことなどがわかりやすく学習できていたと思います。
- ◆ 金銭教育の活動がよかったです。働いてお金を得る大変さやお金の価値観を少し考え直せたのではと思います。子どもがお金を使うことに対して、働いてくれている親に感謝の気持ちを持つことを忘れないでほしいと思います。
- ◆ いろいろな職場での体験をして、一日どれくらいお金をもらえることや仕事の大変さがわかり、とてもよかったですと思いました。
- ◆ 授業参観の風景がもう少し見えたならよかったですと思います。廊下からではあまりよく見ることはできませんでした。
- ◆ 残念ながら参観だけでしたが、家で子どもが「お母さん、今日の講演はおもしろかったよ」と多く話してくれ、参加できなかったのがすごく残念でした。また機会がありましたらお願いします。
- ◆ 給食試食会は毎年楽しみにしています。授業参観も、職場体験についての内容でわかりやすく、子どもたちも興味深く聞いていたと思います。講演はとてもおもしろかったと聞き、聞けずに残念でした。

### 「浦島伝説」についての意見・感想

- ◆ 子どもや親の意見を載せてくださっているので、みんなの意見が参考になります。
- ◆ 学校の様子がよくわかり、読みやすいと思います。たくさんいい言葉が書かれています。
- ◆ 学校の様子がわからないので、浦島伝説は先生方の取り組み方や子どもの取り組みなどがよくわかります。子どもが持って帰ってきたときは、必ず読んでいます。
- ◆ 学校の様子がよく分かるので、子どもとの話題づくりができます。
- ◆ 毎回いろいろなテーマでの内容があって、参考になったりして読ませていただいています。

### 1年間を振り返っての感想や学校への要望

- ◆ 先生方がいい表情なさってますね。生徒共に学校生活をenjoyしておいでる。とてもいいと思います。「学校はいいところだ」と言葉でなく、感じるができます。
- ◆ 子どもの様子もまあまあ落ち着いているので、学校の雰囲気がいいのだと感じます。
- ◆ 保護者参加の行事など、できれば参加していきたいと思います。早めに日時がわかると、仕事の休みが取りやすいので、わかり次第教えていただくとありがたいです。
- ◆ 先生が子どもによく目を向けてくださり、信頼できるのでありがたいです。子どもからいつも学校の出来事や先生との会話を聞かせてもらって、私まで楽しくなります。
- ◆ 2年の3学期に入り、テストの結果や勉強方法について悩んでいます。通常の定期テストと学習の診断テストの結果が明らかに違い、自信をなくしています。テスト勉強方法のコツなどがあれば指導よろしくをお願いします。また、テスト前など、学校内での自主勉強時間があれば、解らないことを直接先生に質問できるのでと思いました。
- ◆ 学習の診断の前の英語の宿題の多さにびっくりしました。普段なら大丈夫ですが、テスト前にあれだけあると、さすがに他教科の勉強ができず、子どもも疲れ果てていました。日々の努力が大切なのですが…。
- ◆ 担任の先生、部活の先生をはじめ、先生方が子どもをよく見てくれていると感じます。自転車がいつもきちんと並んでいたり、学校内がとてもきれいなことに、先生方の指導があり、子どもたちのやるべきことができているんだと思います。
- ◆ 14才、扱いにくい年ではありますが、先生のおかげで、学校や部活を休むことなく行けたのでよかったですと思います。欲を言えば、もう少し勉強をがんばってほしいと思います。
- ◆ 一部の生徒ですが、前髪の長い男の子や、そで口からシャツを出している(そで口を止めていない)女の子、そでの中に手を入れている子を見て驚きました。来年は3年生なので、直した方がいいと思いました。
- ◆ 子どもが毎日楽しそうにその日の学校での話をしている姿を見ると、学校生活が充実しているのだと感じます。日頃の先生方の細かな心遣いに感謝しています。授業参観の時、ひとつ残念なことです。女子の制服のそで口のボタンをはずしている子がたくさんいました。服装の乱れは心の乱れと言いますが、少し残念でした。